

国立市議会議長 様
遠藤直弘

駅前開発におけるロータリー南側空間の活用に関する陳情

陳情の趣旨

駅前開発にあたり、ロータリー南側に計画されているタクシープール・荷捌きスペース予定地について、他の配置案も含めて再検討いただき、当該場所を市民が利用しやすいイベント広場・憩いの場として整備することを求めるものです。道路として整備される場合、イベント等で使用する際に占有や使用許可などの手続が必要となり、警察への申請も含め、市民や事業者にとって活用のハードルが高くなります。一方、広場として整備されれば、市の許可の枠組みの中で活用しやすい公共空間となり、駅前における多様な活動の受け皿を広げることができます。

国立駅前ロータリーは広いものの、現在の駅前広場でのイベントは、周辺商店や緑地への回遊性を十分に高めにくい面があります。また、駅前で大規模なイベントが開催される際には、短時間に多くの来場者が一箇所に集中し、歩行者動線の交錯や滞留が生じるため、安全面への一層の配慮が求められる状況も想定されます。南側に広場やイベントスペースが整備されれば、会場や人の流れを東西広場と分散でき、混雑の緩和や安全性の向上に加え、回遊性やにぎわいの向上も期待できます。また、各商店会が限られたスペースで実施しているイベントに伴う歩道上の行列や滞留の緩和にもつながると考えます。

なお、本件については、令和 7 年 2 月 17 日に商店会から道路交通課へ、タクシープールの配置に関するお願いを申し上げました。その後、令和 8 年 5 月 27 日に回答をいただきましたが、この時期での計画変更は困難であるとの説明でした。こうした経緯を踏まえ、改めて本陳情を提出するものです。

陳情事項

1. 駅前開発におけるロータリー南側のタクシープール・荷捌きスペース計画地について、当該空間を道路として整備するのではなく、市民が利用できる広場（イベント広場・憩いの場）として整備することを前提に、タクシープール及び荷捌き機能の配置・運用を再検討すること。あわせて、既に提示した代替案に限らず、幅広い選択肢を比較検討すること。
2. 上記広場について、市民及び事業者が利用しやすい運用ルールを整備し、継続的にイベント等へ活用できる公共空間として運用すること。